



4月24日に行われた瀬戸市長選挙の結果、増岡錦也市長が4選を果たしました。

子どもに夢を! 瀬戸に元気を!

増岡市長 4期目の市政へ



このたび、改めて瀬戸市長として、ご信任をいただき、新たなスタートを迎える事となりました。さらに魅力あふれる瀬戸のまちづくりに向け、まい進してまいる所存でございます。

さて、これからの瀬戸のまちに元気と活力を与えるものは、まぎれもなく将来を担う子ども達の光り輝く笑顔であります。その笑顔が輝き続けるためにも、近い将来に発生するとも言われる災害における危険箇所の総点検や市内全小中学校の耐震化を含めた防災の強化を実施し、皆さまが安全と安心を実感できるまちづくりに向け、積極的に取り組んでまいります。

また、瀬戸ならではの産業や文化、伝統などの特性を生かし、「せと・まるっとミュージアム」を柱としたまちづくりを進めてまいります。さらに、今後は、道の駅「瀬戸しなの」を北の拠点とし、食と農による取り組みを含め、地域経済の振興に努めてまいります。

「やきもの」のまち瀬戸には、他に比類ない伝統と文化があります。このまちで、誰もが生きがいを持ち、個性が発揮でき、躍動感あふれ、存在感とたくましい地域力のあるまちとなるよう市民の皆さまとともに取り組んでまいります。

市民の皆さまから寄せられた期待にお応えするためにも「子どもに夢を!瀬戸に元気を!」の実現のため、誠心誠意努力してまいりますので、今後とも市民の皆さま方の一層のご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

増岡市長に聞く!

「子どもに夢を!瀬戸に元気を!」の実現を目指す増岡市長に、今後の市政運営について聞きました。

Q まちづくりの基本的な考えを教えてください。

A まちづくりのテーマは4つ、「安全・安心」「子育て」「元気」「信頼」です。なかでも、「安全・安心」は最優先で取り組みたいと思っています。今回の東日本大震災で、地方行政の果たすべき役割、使命の重大さを再認識しました。安全で安心なまちづくりがあってこそ、子育て、教育、福祉、景気対策などの重要政策を実施できると思います。



大地震に備えての総合防災訓練

Q 具体的な施策として考えているものがあれば、お聞かせください。

A まず、中学3年生までの医療費無料化を目指します。その後、任期中の早い段階に高校3年生まで無料化を拡大したいと考えています。また、保育園や小中学校にエアコンを順次設置していくなど、学習に適した良好な教育環境を整備していきます。

市は一丸となって、子ども達の笑顔が輝くまちづくりに取り組んでいきます。



Q 任期中に「これだけはやり遂げたい」と思っていることを教えてください。

A 「やきもの」のまち瀬戸の進化です。やきものは瀬戸の産業であると同時に、文化や歴史、風土など瀬戸のアイデンティティそのものです。やきものを活かした観光産業や文化などに力を入れていきたいです。



道の駅「瀬戸しなの」産直とれたて市場

この3月にオープンした道の駅「瀬戸しなの」は予想を上回る大盛況です。道の駅などを活用して、自然環境に恵まれた都市近郊における食と農の新たな産業を興し、元気な瀬戸を市民の皆さまと一緒に作ってまいります。



窯元で作陶体験